Connected Industries推進のための協調領域データ共有・AIシステム開発促進事業

提案書作成にあたっての注意点

提案書類のそれぞれの位置づけ

本事業は、世界に先駆けた新たなデジタルサービスの創出を目指す事業であるため、

助成事業終了後の**ビジネスプランの評価を重視**します。

ただし**本事業はビジネス支援ではなく、ご説明いただくビジネスプランを実現するために必要な研究開発に対して助成する事業で**あるため、事業期間中の研究開発の具体的な中身についても確認をします。

そのため、提案書類は提案者のビジネスプランについて説明する様式と、研究開発事業について説明する様式の2つに大きく分かれますので、混同しないように注意してください。

- **ビジネスモデルキャンバス**
- **プレゼンテーション資料（前半）**

→ **助成事業終了後のビジネスプランの説明**

- **提案書（e-radで作成）**
- **助成事業実施計画書**
- **応募体制図**
- **提案者一覧表**
- **プレゼンテーション資料（後半）**
- **積算用総括表**

→ **ビジネスプランを実現するためにNEDO事業で実施する研究開発内容の説明**

ビジネスモデルキャンバスについて

助成事業終了後のビジネスプランの説明

- 顧客は誰か、顧客に提供できる価値は何か、これを支える基盤がどうなっているかを**1枚で俯瞰的に把握することが目的。**図表の利用は可。

- 双方向の矢印は、自社目線、顧客目線を意味している。
  - 自社が考える「**価値**」は顧客から見ても、「**価値**」といえるだろうか？
  - 他社と比較した「**強み**」をどのように表現できるだろうか？

- 全てが完成されたビジネスモデルである必要はない。**現時点で足りないものを、NEDO事業での研究開発や社会実装に向けた活動を通じて補うという前提でOK**

追加資料１

CI 実装事業

代表提案者情報	法人名	*株式会社ネド*	役職	*代表取締役*	氏名	*根戸太郎*	
	法人名		役職		氏名	*根戸花子*	
連携する事業会社名	*株式会社○○○、△△株式会社、□□株式会社（予定）、●○大学、国立◎◎病院*						
応募分野	□自動走行・モビリティサービス　□ものづくり・ロボティクス　□プラント・インフラ保安　□スマートライフ　□バイオ・素材						
助成事業の名称	*○○○○○（応募時の提案書と同一の名称、３０字以内）*						

ビジネスモデルキャンバス

価値
顧客に提供する事業の存在価値、どのような価値（効率向上、コスト低減、社会課題解決、波及効果等）を与えるのかを示してください。

顧客
顧客のニーズ・ペインを示し、どんな関係性（接点、関係維持、展開手段）なのか示してください。

顧客
価値を提供する相手

基盤
事業内容の要点を具体的に示し、連携するパートナーのほか、販売代理店、営業活動の委託先、システム
守会社等、事業を実行する際の主要なパートナーを示してください。また、事業を行う上で、
源、人材等の主要リソースがあれば示してください。

自社
価値を生み出す仕組み

金
人件費、広告宣伝費、製造費、保守費等を含めてコスト構造を示しつつ、誰から、いくらで、どのように売上と収益を得るのかを、市場規模、無料または有料ユーザー（登録料、仲介料、リース料）等をふまえて、具体的に示してください。

ビジネスモデルキャンバス解説　【顧客】

誰のために価値を創造するのか、その顧客セグメントとどのような関係を構築したいか（または、その顧客セグメントは、どんな関係性を期待しているか）。

- どの顧客セグメントに価値を届け、満足させるか（どの顧客セグメントを無視するか）を決定する。対象とする顧客セグメントのニーズ、ペインについて深く分析する。
- 企業が特定の顧客セグメントに対してどのような種類の関係を構築したいのかを記述する。顧客獲得、顧客維持、販売拡大といった動機に基づき、関係性が構築される。

この事業を通じてNEDOが求めていること（新たな付加価値創出、社会課題解決）がどのように表現されているか、【顧客】のところで説明されることを期待。

ビジネスモデルキャンバス解説　【価値】

顧客にどのような価値を提供するか。

- 価値の種類は、新規性（新しいニーズを満たすサービスなど）、パフォーマンス（効率向上など）、カスタマイゼーション、デザイン、ブランド、価格、コスト削減、リスク低減、社会課題解決、波及効果など、様々ある。
- 顧客に対し、どのような価値提案ができるかが説明できれば、その顧客に選ばれる理由を説明することができる。

ビジネスモデルキャンバスの肝の部分。

値段に上乗せできる付加価値が何なのかを明らかにしていただきたい。

ビジネスモデルキャンバス解説　【基盤】

価値を提案するために必要なリソースは何か。ビジネスモデルの土台となるパートナーは誰か。

- ビジネスモデルの実行に必要な資産を記述する。
- 必要なリソースはビジネスモデルにより異なる。物理的なリソース（工場、システム、流通ネットワーク等）、知的財産、人的リソース、ファイナンスリソースに加え、過去の実績なども含む。
- ビジネスモデルを最適化し、リスクを減らし、リソースを得るためのパートナーシップについて記述する。

【基盤】では、「価値の提供が可能であることの土台」をどのように考えているのかを把握したい。【基盤】は、既にあるものだけでなく、NEDO事業を踏み台として、これから作る・見つける・獲得するという提案でも良い。

ビジネスモデルキャンバス解説　【資金】

顧客はどのような価値にお金を払うのか。価値を生み出し、届け、顧客との関係を維持し、利益を生み出す上で必要なコストは何か。

- 企業が顧客セグメントから生み出す現金の流れを表現する。
- 誰から、いくらで、どのように売り上げと収益を得るのか。収益の流れを生み出すための方法は、商品の販売、使用料、レンタル/リース、ライセンス等がある。
- ビジネスモデルの実行をする上で発生する主要なコストを記述する。
- 必要なリソースはビジネスモデルにより異なる。物理的なリソース（工場、システム、流通ネットワーク等）、知的財産、人的リソース、ファイナンスリソースなど。

売り上げや収益と、キャンバス左上の【価値】がどのような対応関係になっているかを明らかにしたい

e-Radでの申請　基本情報①

応募（新規登録）

応募を行うに当たって必要となる各種情報の入力を行います。
画面はタブ構成になっており、それぞれのタブをクリックすると各タブでの入力欄が表示されます。
各タブの必要な項目をすべて入力し、「入力内容の確認」をクリックしてください。

公募年度／公募名　2020年度 ／ Connected Industries 推進のための協調領域データ共有・AIシステム開発促進事業/業界横断型AIシステムの開発（2020年度公募）

課題ID／研究開発課題名　必須　XXXXXXXX ／ 100文字以内

↑　事業内容がわかる、40文字以内の短く簡潔な内容としてください。

基本情報 | 研究経費・研究組織 | 個別項目 | 応募・受入状況

基本情報

研究期間（西暦）　必須　最短研究期間：1年 最長研究期間：2年　(開始)　年度から(終了)　年度まで

e-Radの仕様で最長2年と表示されておりますが、実際は最長1年５ヶ月です。

研究分野(主)　研究の内容　必須　研究の内容を検索　クリア

キーワード　必須

キーワード	削除
	☐

行の追加　選択行の削除

研究分野（副）を設定する　▼ 任意項目を表示

e-Radでの申請　基本情報②

研究目的	必須	e-radの仕様で入力必須になっていますが、記載不要です。何か1文字入力いただければ結構です。
研究概要	必須	200～250文字の範囲で、ビジネスプランを実現するためにNEDO事業で実施する研究開発の目的、開発内容を端的に記載してください。

【必須】 追加資料1, 2, 5～8を1つのPDFファイルにまとめてアップロードしてください。

追加資料3 応募体制図 ⇒

追加資料4 提案者一覧表 ⇒

追加資料5 財務データ入力フォーム ⇒

ファイルサイズが30MBを超え、
アップロードできない場合は、
cip@ml.nedo.go.jp までご連絡ください

基本情報-申請書類

	名称		形式	サイズ	ファイル名
	応募情報ファイル	必須	[pdf]	30MB	参照 クリア 削除
参考資料	応募体制図	必須	[PowerPoint（PPT,PPTX）]	30MB	参照 クリア 削除
参考資料	提案者一覧表	必須	[Excel（XLS,XLSX）]	30MB	参照 クリア 削除
参考資料	財務データ入力フォーム	必須	[Excel（XLS,XLSX）]	30MB	参照 クリア 削除
参考資料	会社案内等、会社概要資料		[PDF（PDF）]	30MB	参照 クリア 削除
参考資料	直近3年分の経営状況を示す書類	必須	[PDF（PDF）]	30MB	参照 クリア 削除

アップロード

e-Radでの申請　研究経費・研究組織

基本情報 | 研究経費・研究組織 | 個別項目 | 応募・受入状況

研究経費

年度ごとの経費の登録を行います。
「1.費目ごとの上下限」を確認しながら、「2.年度別経費内

- 本項目には、助成事業に要する経費の総額ではなく、NEDOからの助成金の額を記載してください（補助率をかけた金額）
- 複数の助成先が体制に含まれる場合は、それぞれの金額を入力してください。なお、委託先、共同研究先の情報は不要です。
- 課題に参加する研究メンバーは、各法人につき1名代表の方を記載いただければ結構です。

1.費目ごとの上限と下限

直接経費、再委託費・共同実施費の合計		
再委託費・共同実施費	（設定なし）	（設定なし）

2.年度別経費内訳

（単位：千円）

		合計
直接経費	直接経費 必須	0 千円
	小計	0 千円
再委託費・共同実施費	委託費または共同研究費 必須	0 千円
	合計	0 千円

研究組織

1.申請額（初年度）の入力状況

「1.申請額（初年度）の入力状況」を確認しながら、「2.研究組織情報の登録」の各費目を入力してください。
ここで入力した各費目の金額の計は、上記の「研究経費」の「2.年度別経費内訳」で入力した各費目の初年度の金額と一致するように入力してください。

e-Radでの申請　個別項目①

基本情報 | 研究経費・研究組織 | 個別項目 | 応募・受入状況

法人名	必須	
郵便番号	必須	
住所	必須	
連絡用電話番号	必須	
連絡用メールアドレス	必須	
連絡先担当者役職	必須	
連絡先担当者氏名	必須	
応募代表者役職	必須	
応募代表者氏名	必須	
応募分野	必須	○プラント・インフラ保安　○自動走行・モビリティサービス　○スマートライフ　○バイオ・素材　○ものづくり・ロボティクス
データの確保の確認（ケースAの場合必須）		
先端的なAI技術およびその事業化能力の確認（ケースAまたはCの場合必須）		

審査終了後の採択・不採択通知の送付先の情報を記入してください。

審査プロセスにおける連絡先の情報を記入してください。

審査終了後の採択・不採択通知の送付先の情報を記入してください。

参考:経済産業省 Connected Industries政策のページ
https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/connected_industries/index.html

公募要領の応募要件に対応する説明をお願いします。
（本件はケースAに対応した内容。B、Cの場合はそれぞれ対応した設問となっています）

e-Radでの申請　個別項目②

過去の技術開発業績や事業提携実績等	必須	
産業財産権や受賞歴等	必須	
J-Startup / IoT推進ラボファイナリスト		□ J-Startup企業 □ IoT推進ラボファイナリスト
助成先にスタートアップ性がある企業が含まれているか	必須	○ 含む ○ 含まない
助成先に含まれているスタートアップのスタートアップ性（ミッション性）の説明		
助成先に含まれているスタートアップのスタートアップ性（独創性）の説明		
助成先に含まれているスタートアップのスタートアップ性（急成長志向）の説明		
助成先に含まれているスタートアップのスタートアップ性（技術力）の説明		
実施体制においてスタートアップが主要な役割を担っている場合、その説明		
他の補助金制度等による交付金受給の有無	必須	

該当する場合はチェックしてください。
加点の対象となります。

実施体制において、スタートアップが主要な役割を担う場合は、
これらの項目に設問に対応した説明を記入してください。

当該研究開発の全てもしくは一部及び当該研究開発に関連した開発で、これまでに国、機構、地方自治体等からの委託又は補助金交付を受けたことがある場合あるいは現在申請中の場合には、その概要を明記してください。無い場合は「無し」と記入してください。

助成事業実施計画書①

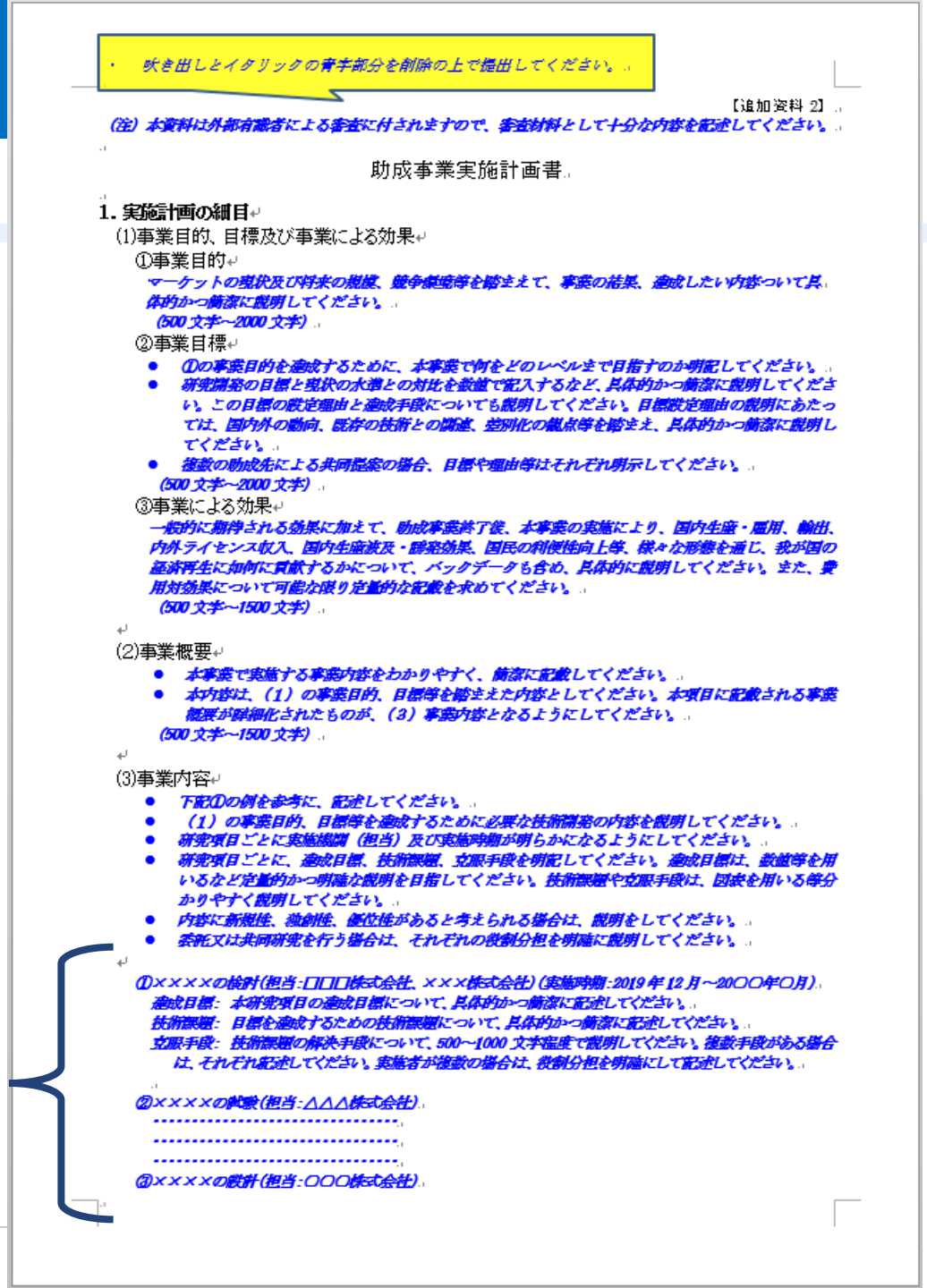
ビジネスプランを実現するためにNEDO事業で実施する研究開発内容

【事業目的】
本研究開発事業の結果、達成したい内容について具体的かつ簡潔に説明してください。

【事業目標】
事業目的を達成するために、本事業で何を達成するのかを明確にしてください。

【事業概要】
以下の事業内容を簡潔にまとめ、記載してください。
必要に応じ、e-radに入力した「研究概要（MAX250文字）」を活用ください。

【事業内容】
事業目的・目標を達成するために、本事業で実施する研究開発の具体的な実施内容を記載してください。個々の研究項目ごとに番号を振り、達成目標、技術課題、克服手段を記載してください。



・ 吹き出しとイタリックの青字部分を削除の上で提出してください。

【追加資料 2】

(注) 本資料は外部有識者による審査に付されますので、審査材料として十分な内容を記述してください。

助成事業実施計画書

1. 実施計画の細目

(1)事業目的、目標及び事業による効果

①事業目的

マーケットの現状及び将来の規模、競争環境等を踏まえて、事業の結果、達成したい内容ついて具体的かつ簡潔に説明してください。
(500 文字~2000 文字)

②事業目標

- *①の事業目的を達成するために、本事業で何をどのレベルまで目指すのか明記してください。*
- *研究開発の目標と現状の水準との対比を数値で記入するなど、具体的かつ簡潔に説明してください。この目標の設定理由と達成手段についても説明してください。目標設定理由の説明にあたっては、国内外の動向、既存の技術との関連、差別化の観点等を踏まえ、具体的かつ簡潔に説明してください。*
- *複数の助成先による共同提案の場合、目標や理由等はそれぞれ明示してください。*

(500 文字~2000 文字)

③事業による効果

一般的に期待される効果に加えて、助成事業終了後、本事業の実施により、国内生産・雇用、輸出、内外ライセンス収入、国内生産波及・誘発効果、国民の利便性向上等、様々な形態を通じ、我が国の経済再生に如何に貢献するかについて、バックデータも含め、具体的に説明してください。また、費用対効果について可能な限り定量的な記載を求めてください。
(500 文字~1500 文字)

(2)事業概要

- *本事業で実施する事業内容をわかりやすく、簡潔に記載してください。*
- *本内容は、（1）の事業目的、目標等を踏まえた内容としてください。本項目に記載される事業概要が詳細化されたものが、（3）事業内容となるようにしてください。*

(500 文字~1500 文字)

(3)事業内容

- *下記①の例を参考に、記述してください。*
- *（1）の事業目的、目標等を達成するために必要な技術開発の内容を説明してください。*
- *研究項目ごとに実施機関（担当）及び実施時期が明らかになるようにしてください。*
- *研究項目ごとに、達成目標、技術課題、克服手段を明記してください。達成目標は、数値等を用いるなど定量的かつ明確な説明を目指してください。技術課題や克服手段は、図表を用いる等分かりやすく説明してください。*
- *内容に新規性、独創性、優位性があると考えられる場合は、説明をしてください。*
- *委託又は共同研究を行う場合は、それぞれの役割分担を明確に説明してください。*

①××××の検討(担当:□□□株式会社、×××株式会社)(実施時期:2019 年 12 月~20○○年○月)
達成目標: 本研究項目の達成目標について、具体的かつ簡潔に記述してください。
技術課題: 目標を達成するための技術課題について、具体的かつ簡潔に記述してください。
克服手段: 技術課題の解決手段について、500~1000 文字程度で説明してください。複数手段がある場合は、それぞれ記述してください。実施者が複数の場合は、役割分担を明確にして記述してください。

②××××の試験(担当:△△△株式会社)
.....
.....
.....

③××××の設計(担当:○○○株式会社)

助成事業実施計画書②

（３）事業内容にて記載した各研究項目の実施計画を記載してください。
（３）事業内容との対応関係が分かるように個々の研究項目の番号を記載してください。

⑤××××の開発（担当：○○○株式会社）
……
……
……
⑥××××の評価（担当：国立研究開発法人▽▽▽）
……
……
……
⑦××××の海外調査（担当：○○○株式会社）
……
……
……
⑧××××委員会の開催（担当：○○○株式会社）
……
……
……

2. 実施計画

事業項目	2020年度		2021年度			
	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～2月
①×××の検討						
②×××の試験						
③×××の設計						
④×××の製作						
⑤×××の開発						
⑥×××の評価						
⑦×××の海外調査						
⑧××委員会の開催						

上記「1.(3)事業内容」であげた各技術開発項目の実施計画を記載してください。
克服手段が複数ある場合等、行の追加を行っても構いません。
不要な列がある場合は適宜削除してください。

プレゼンテーション資料（配布用様式）

- ✓ 二次審査はプレゼンテーション形式で審査いたします。
- ✓ 本ページ、次ページ及び以降のイタリックの青文字は削除または編集し、
  プレゼンテーション資料を作成してください。
- ✓ *P. 4, 5,*の黒字は、記載要求事項（審査事項）です。記載事項が無い場合は、無し、と記載してください。
  本様式に示した記載要求事項を全て、プレゼンテーション資料に盛り込んでください。
  一部が欠けた場合、審査の評価が低くなる場合があります。
- ✓ 本ファイルをそのまま用いてプレゼンテーション資料を作成することも、
  個別に資料を作成することも認めます。

このシートは提出時削除

プレゼンテーション資料（配布用様式）

✓ 資料の枚数は自由ですが、*10*枚程度を目安に作成ください。配布用として、より伝わりやすく、
ノート、コメント等を追加する場合は、枚数が目安を超えても構いません。

✓ 提出締切：2次審査の案内から一週間以内

✓ ファイル名は、『株式会社を除いた法人名_2次審査プレゼンテーション資料*.pdf*』としてください。

2020年6月●日

✓ 採択審査委員会の日付を記載して下さい。

助成事業の名称

ケース●：＊＊＊＊＊＊＊＊＊：ケースA～Cのいずれかを記載してください。

「●●システム開発事業」

✓ 提案いただく事業の名称を記載してください。

人、データが寄り添う社会を目指して
日本の未来をつくるイノベーションをおこします。

✓ 本提案の理念を端的に2行以内で記載して下さい。

応募者

株式会社●●

ＣＥＯ　根戸太郎

株式会社◎◎、株式会社■■　（予定）

✓ 連携する事業会社が複数である場合、法人名を全て記載して下さい。
連携が予定であれば、
（予定）を付してください。

✓ 項目を箇条書き等で、わかりやすく説明してください。
項目の順番は自由です。

事業計画【ビジネスプランの説明】

エグゼクティブサマリー（ビジネスプランの要点をまとめたもの）

✓原則1，2枚とする。テキスト、図解を併用する場合は3枚程度とする。

会社の目的、ビジョン・ミッション、財務数値予測（グラフなど）、重要成功要因

✓以下の4つの観点に基づいて、事業計画の詳細を根拠データ等も示しつつ6枚以内で記載。
それぞれ1～2枚程度を目安とする。なお、1枚に複数の観点を盛り込むことも可。

事業立ち上げの経緯
市場および共創・競合の分析
ビジネスモデル
立ち上げ計画

ビジネス視点
✓ 生じている課題、解決すべき課題（やりたいこと）
✓ 想定する市場規模（分野）とその理由、根拠（収益に繋がる）
✓ データ視点、アプリケーション視点、サービス視点（収益について）
✓ 連携、共創することによる解決事項（協力者の有無）
✓ （連携する）組織が保有する特有のもの（ケイパビリティ）

✓ 提案書（実施計画書）記載項目を箇条書き等で、わかりやすく説明してください。
項目の順番は自由です。

事業計画【研究開発内容の説明】

研究開発計画【事業計画を実現するためにNEDO事業で実施する研究開発内容の説明】

✓ 以下、各1枚以内とする

研究開発計画

達成目標・水準・指標の設定

開発終了後の3年分売上計画

前ページで記載のビジネスを実現するための研究開発要素視点
✓ 何を研究開発し
✓ どのように解決するのか
✓ いつまでにどのような成果を達成するのか

開発計画

✓ 前ページの研究開発スケジュールをわかりやすく示してください。
「実施項目」、「実施時期」、「達成目標」、「実施項目毎の助成金の額及び助成対象経費」、「主要外注先とその費用（もしあれば）」、「開発成果の導入時期」、「各年度末時点の業務完了要件」は、
必ず記載してください。
本助成事業期間内で完了しない実施項目があれば記載してください。
下表は例です。下表を用いる場合、行例を適宜追加して下さい。

実施項目		2020年度	2021年度	達成目標	助成金の額 100百万円	助成対象経費 200百万円
大分類	小分類	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3			
検証	モデル評価	←→ 動作原理確認		100%動作	50百万円	100百万円
実証	ラボ評価	←→ システム化と動作確認 主要外注先（(株)）●▲システム、 50百万円		制御時のエラー率1%以下	40百万円	80百万円
実証	実装評価	←→ 実ライン評価 主要外注先（(株)）◎■、 10百万円		要求アウトプットの100%出力	10百万円	20百万円
導入時期		2020年度末の業務完了要件 ・●●システムの開発完了 ・●●の動作原理確認 ・●●システムの××精度80%達成	←→ 2021年度末の業務完了要件 ・	FY2021.3 導入完了		